

## 内牧地区公民館・内牧南公民館

### ◇運営の基本方針

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。  
また、地域の団体・組織と連携して地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

### ◇重点施策

- 1 住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。
- 2 地域住民の連携と活性化を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。
- 3 自然に恵まれた特色を生かして、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

### ◇重点事業

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1 家庭教育学級      | 2 趣味の講座・教養講座 |
| 3 内牧地区体育祭・文化祭 | 4 内牧ふれあい講座   |

#### 内牧地区公民館

所在地 〒344-0051 春日部市内牧4398番地  
TEL 048-752-3255  
FAX 048-752-3255  
E-mail uchikou@city.kasukabe.lg.jp



#### 内牧南公民館

所在地 〒344-0051 春日部市内牧1498番地  
TEL 048-761-0065  
FAX 048-761-0065  
E-mail uchinankou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	島崎 勇治
	主査(兼務)	綿田 篤
	主任(兼務)	古岩井 仁寿
	主事(兼務)	赤坂 亮祐 (社会教育主事)
	フルタイム(兼務)	金子 喜久江
	フルタイム(兼務)	手塚 克己

内牧地区 1

事業名 テーマ	子育てサロン うちまきプレイルーム		対象	未就学児とその家族		定員	なし	
ねらい	気軽に親子で遊べるスペースとして開放し、乳幼児を抱える保護者同士のコミュニケーションの場とする。							
協力機関 及び団体	内牧地区更生保護女性会 ほか		特色 位置づけ	子育て支援事業 重点事業		SDGs の目 標No	3	
会場	内牧南公民館 大会議室		教材 資料等	遊具・玩具・絵本 等				
実施ま での経 過	4月 事業計画書提出 6月 幼児家庭教育学級同時開催 12月 幼児家庭教育学級同時開催 2月 幼児家庭教育学級同時開催		PR方法	広報かすかべ 公民館だよりに掲載 安心安全メール配信(5月・7月)				
			受付方法	開催時間中に自由参加 コロナ期間で事前予約先着10組				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回 数	総時間数							
4月 7日(木)	10:00~12:00	「こいのぼりを作しましょう」	体験	13	21	34	石田涼子・石田晋也	
5月12日(木)	10:00~12:00	「ママたちのカフェタイム」		3	7	10		
6月 2日(木)	10:00~12:00	「とろんぴあ音楽祭」	鑑賞	10	22	32		
7月 7日(木)	10:00~12:00	「七夕かざりを作しましょう」	体験	8	18	26		
8月 4日(木)	10:00~12:00	「ヨーヨー釣り」	体験	11	15	26		
9月 1日(木)	10:00~12:00	中止						
10月 6日(木)	10:00~12:00	「キャンディイを作しましょう」	体験	1	7	8	大塚果樹園	
11月10日(木)	10:00~12:00	中止						
12月 1日(木)	10:00~12:00	「みかん狩り」	体験	2	11	13		
1月12日(木)	10:00~12:00	「ママたちのカフェタイム」		7	12	19		
2月 2日(木)	10:00~12:00	「ふつうって何？」	講演	3	8	11	山田 優子	
3月 2日(木)	10:00~12:00	「おひな祭り」	体験	5	8	13		
10回	20時間			63	129	192		
企画運営上 の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて申込制として行った。マスクの着用、手指のアルコール消毒、換気をおこなった。 各月ごとにテーマを設け、初対面でも話しやすく楽しんでもらえる会場づくりを工夫した。							
成 果 参加者 の声 など	前年度から事業の認知度も上がり、参加者も増えてきた。顔ぶれが定着してきた参加者も増え、ママさん同士の繋がりができているようだ。回を重ねるごとに賑やかになっており、次回の申し込みをしてくれる参加者も多く、楽しんでもらえているようである。							
課題と展望	テーマがある程度定番化してきており、更生保護女性会との協力の中、アンケートを活用するなどして、新しいテーマや遊びを取り入れられるよう考察、工夫をしていきたい。							

事業名 テーマ	うちまき緑のコンサート		対象	一般		定員	なし	
ねらい	市内の文化団体が、日頃の活動の成果を発表し、地域の方々との交流を図る。音楽環境を醸成することによって、地域の文化芸術の振興を目的とする。							
協力機関 及び団体	市内及び県内で活動する音楽団体		特色 位置づけ	重点事業			SDGs の目 標No	11
会場	内牧地区公民館 講堂		教材 資料等	プログラム				
実施ま での経 過	5月上旬 出演団体交渉・講師依頼 送付		PR方法	公民館だより6月号掲載				
	6月1日(水) 公民館だより6月号発行 6月3日(金) 受付開始 6月中 リハーサル 7月2日(土) 前日準備・リハーサル 7月3日(日) 実施			受付方法	6月3日より窓口、電話など			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
7月3日(日)	13:00~16:00	出演3団体による発表	鑑賞	41	89	130	GOEMON BAND とろんぴあ Miyack(ミヤック)	
								
1回	3時間			41	89	130		
企画運営上 の工夫	コロナウイルス感染防止のため、以下の措置を講ずる。 ・入場者を把握するために事前申込制とし、来場者氏名、連絡先、入退場時間が分かるようにする。 ・座席数を減らし、ステージと客席、客席同士の間隔を広げる。 ・入場の際に検温と消毒を行う。							
成果 参加者 の声など	運営について感染予防対策など安心して鑑賞でき、また参加したいとの声が多かった。主な意見は以下のとおり。 ・世代に合ったジャンルでよかった。アコーディオン、また聴きたい。 ・4月に引っ越して来ました。音楽とても癒しになります。							
課題と展望	異なる幅広いジャンルの音楽で、多世代の来場者に喜んでいただけた。次回への期待の声もあり、出演交渉を丁寧に進めていきたい。前年度と同じ各部毎のチケット配布としたが、『受付がスムーズでよかった』との声も多く、次回はチケットなしの対応も検討したい事前に役割分担についての打ち合わせが重要と思われる。							

内牧地区 3

事業名 テーマ	内牧一区自主防災訓練		対象	地区内住民		定員	なし	
ねらい	避難訓練と避難所運営訓練を同時に行い、地区防災会活動の支援をする。 訓練を行うことにより、より安全な生活を送ることができる。							
協力機関 及び団体	内牧一区自主防災会、防災対策課、 内牧地区赤十字奉仕団		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	11・17	
会場	内牧南公民館 全館貸切(午前中のみ)		教材 資料等					
実施ま での経 過	3月下旬 日程調整ほか交渉等 5月18日(水) 地区防災会、防災対策 課 及び公民館職員打合 せ		PR方法	一区内の回覧板で周知する				
	5月31日(火) 一区地区長と最終打合 せ		受付方法	当日、直接				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
6月4日(土)	10:00~11:30	消火訓練・AED訓練 地震体験	実習	36 (子供2)	22 (子供1)	58 (子供3)	防災対策課職員 春日部消防署職員	
								
1回	1時間30分			36	22	58		
企画運営上 の工夫	地区自主防災組織と防災対策課の打合せに当初から参画し、情報共有をしながら事業を進めることが出来た。 コロナ禍での実施のため、室内は密になりやすいために全ての訓練を屋外で行った。 また、器具等使用ごとに丁寧に消毒作業を行った。							
成果 参加者 の声など	コロナ禍での訓練ではあったが、たくさんの方に参加いただけた。 高齢化していて、いざの時の行動が心配なので参加して良かった。 地震体験車を体験して、3・11を思い出してしまい怖かった。 消火訓練は、操作に焦ってしまいましたが良い経験が出来た。							
課題と展望	今後は、より実践的な防災訓練及び避難所運営訓練の実施を検討して行く。 また、特定の地区だけでなく、地域全体での防災訓練等が必要と思われる。							

事業名 テーマ	スポーツ教室 第45回内牧地区婦人バレーボール 及びソフトバレーボール大会		対象	内牧地区在住 18歳以上の女性		定員	なし	
ねらい	地区内の女性たちが、スポーツを通して交流を図る							
協力機関 及び団体	主催:内牧地区体育振興会 共催:内牧地区公民館、内牧南公民館 協力:共栄大学バレーボールサークル		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	3	
会場	共栄大学 体育館 内牧地区公民館 体育室(練習会場として)		教材 資料等					
実施ま での経過	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止 ※主催者(内牧地区体育振興会)より 中止の連絡あり。		PR方法	公民館だより6月号掲載				
			受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
6月19日(日)		バレーボール試合 ソフトバレーボール試合	試合				協力:共栄大学バレー ボールサークル	
1回				0	0	0		
企画運営上 の工夫								
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止							
課題と展望								

内牧地区 5

事業名 テーマ	第38回内牧地区少年少女球技大会	対象	内牧地区の小学生	定員	200		
ねらい	地域に育つ子ども達の交流と健康増進を図る						
協力機関 及び団体	主催:内牧地区自治会連合会 主管:内牧ソフトボール連盟 後援:内牧地区体育振興会	特色 位置づけ	地域一体となった青 少年の交流、健康増 進を図る事業	SDGs の目 標No	3		
会場	内牧小学校 校庭	教材 資料等					
実施ま での経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため に延期をしたが、結局は中止にした。 ※主催者(内牧地区体育振興会)より 中止の連絡あり。	PR方法	公民館だより6月号掲載				
		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
7月31日(日)		ドッジボール競技 キックベースボール競技 ※なお、内牧地区自治会 連合会と公民館の主催と しての開催である。	実技				審判・スコアラー等 は、内牧ソフトボ ール連盟中心の競技 役員で対応。参加 チームからも競技役 員の選出をお願い する。
1回				0	0	0	
企画運営上 の工夫	館報6月号への掲載のみでなく、各地区長に出席をお願いし、内牧地区全体の事業としての意識付けを行いながら実施する。						
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止						
課題と展望							

事業名 テーマ	家族ふれあい教室 うちまき蝶の観察会 ～お気に入りの蝶が見つかるかな～		対象	小学生とその家族		定員	約10家族	
ねらい	夏休みを利用し、内牧地区の豊かな自然を活用した野外活動体験を通して、家族がふれ合える機会を提供する。また、地区内に生息する蝶の捕虫を実践し、観察し、学ぶことでさらに興味を持ち、楽しく学び合う家族の交流を図ることをねらいとする。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	内牧の自然を生かした講座		SDGs の目標No.	15	
会場	内牧公園(お花見広場付近)		教材 資料等	レジュメ、蝶リスト				
実施までの経過	5月14日(土) 第1回打ち合わせ講師折衝 6月4日(土) 第2回打ち合わせ 6月19日(日) 講師依頼書 ポスター掲示		PR方法	館内ポスター・チラシ 子育て情報メール配信依頼				
	6月25日(土) 受付開始 6月30日(木) 安心安全情報メール配信 7月16日(土) 第3回打ち合わせ 7月31日(日) 実施		受付方法	直接または電話で内牧南公民館に 申込み 先着順、定員になり次第締め切り				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月31日(日)	8:50 9:00～ 9:15～11:00 11:10～ 11:20	現地集合 講師紹介、諸注意 講義 蝶の説明と捕虫網の実演 捕蝶・昆虫観察 昆虫採集終了、講評 アンケート記入・回収 解散	実習	9	11	20	講師:伊藤有三	
1回	約2.5時間			9	11	20		
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、初期の申し込み状況を眺めながら、参加対象を幼児(保護者同伴)まで拡大し実施した。また、他事業の場を活用し、参加募集を積極的に行った。</li> <li>教育的な視点を考慮し、子供の視点でQ&amp;A集を講師と共に作成し配布した「教えて伊藤先生！」</li> </ul>							
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は戸惑いながらも、開始すると先生の指導のもと夢中になり蝶や、様々な昆虫を追いかける親子の姿が微笑ましかった。今回は幼虫観察や捕獲後の標本の作り方を天翅版、標本サンプルを用いて説明する機会を設け、多くの参加者が興味を持って講師の話聞いていた。</li> </ul>							
課題と展望	SNSや知り合いに紹介して頂いたインフルエンサの影響の大きさを感じた。それに伴い、集合場所の詳細な説明の必要や内牧の自然観察の魅力のアピールをすることの意味も感じた。地区への参加勧誘は小学校などへのアピールを行うことも考えていきたい。							

内牧地区 7

事業名 テーマ	趣味の講座 親子クラフト講座 焼き板クラフト		対象	親子		定員	10組 20名	
ねらい	体験活動を通して親子での交流の機会を提供する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	重点事業			SDGs の目標 No	4・11
会場	内牧南公民館 大会議室 駐車場		教材 資料等	杉板、ガスバーナー				
実施までの経過	11月 講師と打ち合わせ 12月 1日(木) 公民館だより10月号発行 参加申込み開始		PR方法	公民館だより12月号、ポスター掲示				
	12月25日 (日) 1月上旬		受付方法	12/1～12/25に電話または窓口で 申込み(先着順)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月22日(日)	13:30～16:00	焼き板クラフト	体験	9	7	16	公民館職員	
1回	2時間30分			9	7	16		
企画運営上の工夫	簡単な創作活動を通しての交流や個性を出して創造性を高める活動とした。 対象者を親子にしたことで子育て世代公民館利用の拡大を図った。 体験活動を提供できる公民館職員が講師となって事業を運営した。							
成果参加者の声など	少人数で行うことで運営がしやすく一人ひとりの様子を確認ができた。 参加者の声 ・初めてなので楽しかった。 ・ほかのクラフトもしてみたい							
課題と展望	対象を絞って実施したが、対象外の公民館利用者から参加したいという声もあったため 対象を広げて実施を考えてもいい。公民館職員の中でもスキルの共有を図りそれぞれの館で同じような事業を展開していけるとよい。							





事業名 テーマ	青少年体験教室 「内牧地区夏休み子ども納涼祭」		対象	内牧地区の子ども		定員	なし	
ねらい	地域の子ども同士が交流を図り、普段なかなか体験することの無い事業を行い、夏休みの思い出づくりのひとつとする。							
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員(内牧地区)、 春日部市赤十字奉仕団内牧地区、		特色 位置づけ	小学校の学年間を 越えた青少年の交 流の機会をつくる		SDGs の目 標No	4・11	
会場	内牧地区公民館 講堂、研修室Ⅰ・Ⅱ 和室、実習室		教材 資料等					
実施ま での経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止		PR方法					
			受付方法					
月日(曜)		内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1回								
企画運営上 の工夫								
成 果 参加者 の声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止							
課題と展望								

内牧地区 9

事業名 テーマ	内牧ふれあい講座		対象	概ね60歳以上の方		定員	なし	
ねらい	高齢者が健康で生きがいのある楽しい人生を送るための講座開催による学習機会を作る。							
協力機関 及び団体	共催 いきいきクラブ内牧地区連合会		特色 位置づけ	高齢者同士の交流及び高齢者の健康・生きがいづくりに特化した事業		SDGs の目 標No	3	
会場	内牧地区公民館 講堂及び館外		教材 資料等	レジュメ				
実施ま での経 過	5月中旬 第1回打合せ 6月 1日 第2回打合せ (水) 館報掲載 6月25日(土) 参加受付開始		PR方法	公民館だより6月号掲載				
			受付方法	各クラブ会長に取りまとめを依頼 (各クラブ会員) 電話または直接申し込む(一般)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
第1日目 7月13日(水)	10:00~12:00	開講式 「フレイル予防講座」	講義	4	14	18	明治安田生命	
第2日目 7月20日(水)	9:00~11:00	「内牧散策ウォーキング」	実技	4	14	18	内牧地区公民館職員	
第3日目 7月27日(水)	10:00~12:00	閉講式 「軽スポーツ体験」	実技	4	14	18	スポーツ推進課職員	
								
3回	7時間			12	42	54		
企画運営上 の工夫	共催団体のいきいきクラブ内牧地区連合会の役員と共に事業内容を検討した。コロナ過で外出等の自粛のストレス解消を目的に実技を多く企画した。							
成 果 参加者 の声 など	実技系の講座を中心に行ったことで満足度が高かった。バス研修や給食体験を復活させて欲しいとの要望がありました。							
課題と展望	例年同じ内容の流れが続いているため、ウォーキングコースの変更やレクスポーツのバリエーションを増やすなど、工夫が必要。							

事業名 テーマ	令和4年度 市民体育祭 第66回 内牧地区大会		対 象	地区住民	定員	なし	
ねらい	地域住民の健康増進・体力向上、住民相互の交流を図る。						
協力機関 及び団体	主催:春日部市・内牧地区自治会連合 会 主管:内牧地区体育振興会 後援:春日部市コミュニティ推進協議会		特 色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	3	
会 場	内牧小学校 校庭		教 材 資 料 等	競技台本、プログラム			
実施まで の経過	5月末 中止決定		PR方法	公民館だより8月号掲載 8月末にプログラムを全戸配布			
	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止		受付方法	地区対抗種目の出場選手については地区毎に取りまとめ、所定の申込書で内牧地区公民館へ申し込む。自由参加種目は当日招集する。			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月9日(日)			競技				大会役員 競技役員
				0	0	0	
企画運営上 の工夫							
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止						
課題と展望							

内牧地区 11



事業名 テーマ	趣味の講座① フラワーアレンジメント教室		対象	一般	定員	10名	
ねらい	余暇の時間の有効活用及び学習機会の提供を図る。						
協力機関 及び団体		特色	重点事業	SDGs の目 標No	4・11		
会場	内牧地区公民館 講堂		教材 資料等	生花等、講師が準備 参加者負担金 2000円(材料費)			
実施ま での予 定	8月下旬 9月上旬	講師折衝 講師依頼 *講師より実施日変更依頼あり ポスター掲示、チラシ配架 公民館だより10月号掲載 参加募集受付開始 SNS配信依頼 実施	PR方法	公民館だより「うちまき」10月号掲載 内牧地区、南公民館内にポスター・チ ラシ配架 SNS配信			
	9月下旬 10月1日  10月7日(金) 10月18日(火)		受付方法	直接、内牧地区公民館へ申し込む 参加費は当日徴収			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月18日(火)	10:00~11:30	フラワーアレンジメント (ハロウィーンバージョン)	体験	1	11	12	(有)花勘 千葉 和枝
1回	1時間30分			1	12	13	
企画運営上 の工夫	季節の花を使ったフラワーアレンジメントを通じて、参加者同士の交流を図りながら楽しく学べる 講義としたい。 公民館の講義を通して、参加者にとっての「新たな趣味の発見」ができるものとした。						
成果 参加者 の声など	一人ひとりに対応したご指導により、わかりやすくアレンジメントを楽しんでいただけたようだ。花の特徴や扱い方、長持ちする方法なども教えていただき、参加者にはとても好評であった。アンケート結果からも、ほぼ全員から満足しているとの回答を得、それぞれ個性ある素敵な作品を大事に持ち帰って行かれた。						
課題と展望	毎回好評をいただいている講座で、リピーターの参加者も多く、また次回開催を要望する声も多く聞かれた。今後も季節に応じた企画を検討し、対象や定員についても見直し、より幅広い視野で募集をかけていきたい。						



事業名 テーマ	内牧地区福祉大会		対象	地域住民		定員	なし	
ねらい	地域の高齢者同士が互いに支えあい、活力ある地域社会づくりの担い手として活動し、社会福祉の一層の充実と発展に寄与することを目的とする。							
協力機関 及び団体	主催:春日部市いきいきクラブ 内牧地区連合会		特色 位置づけ	地域の高齢者の日頃の活動の成果を発表する。		SDGs の目 標No	3	
会場	内牧地区公民館 講堂		教材 資料等	プログラム				
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※主催者(春日部市いきいきクラブ内牧地区連合会)より中止の連絡あり。		PR方法	内牧地区連合会で地域へ広報と一般参加の受付を行う				
			受付方法	開催時間中の観覧は自由				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
10月23日(土)		式典 参加者による舞台発表 (歌・民踊など)	観覧			0		
1回				0	0	0		
企画運営上の工夫								
成果参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止							
課題と展望	参加者が高齢者であり、歌(カラオケ)による飛沫拡散や会食を伴うため、リスクが大きい。そのため、今後の開催可否を含め、現在の内容を全面的に見直す必要がある。							

内牧地区 13

事業名 テーマ	趣味の講座② フラワーアレンジメント教室		対象	一般		定員	15名程度	
ねらい	余暇に時間の有効活用及び学習機会の提供を図る。							
協力機関 及び団体			特色	重点事業			SDGs の目 標No.	4・11
会場	内牧南公民館 大会議室		教材 資料等	生花等、講師が準備 参加者負担金 2500円(材料費)				
実施までの 経過	10月下旬 講師折衝 11月上旬 講師依頼 11月下旬 ポスター掲示、チラシ配 12月1日 架		PR方法	公民館だより「うちまき」12月号掲載 内牧地区・南公民館、中央公民館内 にポスター・チラシ配架 SNS配信				
	12月2日(金) 参加募集受付開始 12月11日(日) SNS配信依頼 実施		受付方法	直接、内牧南公民館へ申し込む 参加費は当日徴収				
月日(曜)	時間	内容	方法	定員数(予定)			講師・助言者の職名	
回数	総時間数			男	女	合計	氏名	
12月11日(日)	10:00~11:30	フラワーアレンジメント (クリスマスバージョン)	体験	1	14	15	(有)花勘 千葉 和枝	
								
								
1回	1時間30分			1	14	15		
企画運営上 の工夫	前回(10/18開催)のアンケートを踏まえ、先生との日程調整をし、希望の多かったクリスマスバージョンを企画した。受付期間が短い中、公民館だよりやチラシ、SNS等の配信で周知を図った。季節の花を使ったフラワーアレンジメントを通じて、参加者同士の交流を図りながら楽しく学べる講義としたい。							
成果 参加者の 声など	今回はリピーターと初参加が半々であり、また年齢層も老若男女全てに該当する、幅広い参加者となった。一人ひとりに対応したご指導により、わかりやすくアレンジメントを楽しんでいただけたようだ。花の特徴や扱い方、長持ちする方法なども教えていただき、参加者にはとても好評であった。							
課題と展望	毎回好評をいただいている講座で、リピーターの参加者も多く、また初心者からも次回開催を要望する声が多く聞かれた。今後も季節に応じた企画を検討し、対象や定員についても見直し、より幅広い視野で募集をかけていきたい。							

事業名 テーマ	令和4年度第31回内牧地区文化祭		対象	公民館利用団体・地域住民・一般	定員	なし	
ねらい	地区内で文化的活動をしているサークル・個人の紹介と発表の場を設け、地域還元を図ると共に、多くの方に芸術や地域文化の素晴らしさを味わってもらう。						
協力機関及び団体	主催:内牧地区自治会連合会 協力:内牧小学校(児童作品展示)他		特色	重点事業	SDGsの目標No.	4・11	
会場	内牧地区公民館		教材資料等	進行台帳、プログラム等			
実施までの経過	6月17日(金) 遊学フェスティバル 参加事業申込 8月下旬 参加申込書配布開始 9月30日(金) 参加申込み締切 10月8日(土) 調整会議 11月初旬 各団体リハーサル 11月12日(土) 前日準備		PR方法	(1)公民館だより10月号掲載 全戸配布(11月1日付) (2)ポスター掲示及び配架 (3)安心安全メール・ツイッター配信			
			受付方法	※参加団体 参加申込書を記入し、申し込む。 ※当日の来場者は自由			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名氏名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
11月13日(日)	13:00~16:00  16:00~16:30	舞台発表、 作品展示 後片付け	実演 展示	60	100	160	各参加団体 ・芸能の部(7団体) ・実演の部(1団体) ・展示の部(個人3) (3団体)
							
1回	3:30			60	100	160	
企画運営上の工夫	ここ数年、新型コロナウイルス感染防止による中止が続く中で、今年度はかなり縮小した企画とした。これまで2日間行っていた1日目の公民館企画は行わず、感染対策を行い利用者による発表を13日(日)の午後のみとした。利用状況にも変化しており、参加者の負担軽減実行委員会形式はとらず、参加条件も柔軟に対応した。						
成果参加者の声など	参加団体の少ない中で、出来る範囲で取り組んだ文化祭であった。実行委員会形式ではなかったため、参加者から打ち合わせなど事前の準備が不足していたとの意見があった。その割には芸能の部、実演・販売の部、展示の部、各部門に予想より多くの来館者があり、好評を得ていた。						
課題と展望	3年ぶりとなる文化祭が出来たことは、次年度への足掛かりとなった。しかし、文化祭開催が決定されるまでの準備が遅すぎた。次年度は開催するとの前提で、参加者への呼びかけや準備を早めに進めていくようにしたい。来館者増やすためには、子育て世代の関心と呼ぶ企画や、地域再発見の企画を考案するなど、発想の転換が必要となる。						

内牧地区 15

事業名 テーマ	パパママの子育て学級 (幼児家庭教育学級)		対象	未就学児と保護者		定員	第1回:10組 第2回:10組 第3回:10組	
ねらい	子どもたちの健やかな成長を願い、人間形成の上で最も重要な時期である幼児期の発達段階を正しく理解し、望ましい親子関係や家庭環境、健康生活について学ぶ。同世代の子どもを持つ親同士で交流することで、パパママ同士の繋がりを生み出す。							
協力機関 及び団体	内牧地区更生保護女性会		特色	重点事業		SDGs の目 標No.	3	
会場	第1回、第3回:内牧南公民館大会議室 第2回:大塚果樹園		教材 資料等	第1回:プログラム(公民館作成) 第2回:なし 第3回:PC(講師用意)				
実施ま での予 定	4月 公民館だより4月号掲載 第1回講師と打ち合わせ 6月2日(木) 「第1回幼教」実施 6月上旬 第2回講師と打ち合わせ 8月 公民館だより8月号掲載 9月1日(木) 中止 令和5年2月へ変更 9月下旬 大塚果樹園と実施相談 10月 公民館だより10月号掲載 12月1日(木) 「みかん狩り」が雨天中止 2月2日(木) 「第3回幼教」実施		PR方法	(1)子育てサロン「うちまきプレイ ルーム」参加者にチラシ配布 (2)公民館だより掲載 (3)館内、他公民館にポスター掲 示・チラシ配架・メール配信				
			受付方法	第1回、第2回、第3回とも 内牧南公民館へ電話か直接申込				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
回数	総時間数			男	女	合計		
6月2日(木)	10:30~11:30	「とろんぴあ音楽祭」	鑑賞	10	22	32	とろんぴあ (石田涼子、石田晋也)	
12月1日(木)	10:30~11:30	「みんなでののしもう!みかん狩り」	体験	2	14	16	大塚果樹園	
2月2日(木)	10:30~11:30	「"ふつう"って何? ~私の子育て、世界の子育て~」	体験	2	8	10	山田優子	
1回	3時間30分			14	44	58		
企画運営上 の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて申込制として行う。マスクの着用・手指のアルコール消毒・換気を行う。アンケートを募り参加者が集まるような企画を考案し、次回の幼教の内容をお知らせするなど周知に力をめた。また、参加者同士の交流を促すために安心感のあるリラックスした雰囲気づくりを心掛けた。							
成果 参加者 の声など	1回目は親子で気軽に参加できる音楽会を人気の講師に依頼し、例年より多くの参加者が集まった。そこで楽しんでいただけたことが口コミでひろがり、親子の仲間ができ参加者増につながったようだ。コロナのため2月に予定を変更したが、子育て中でもある講師の話には共感する面が多く、参加者とのリラックスした交流が見られた。							
課題と展望	今後も1回目の開催内容は重要であるとする。親子で楽しむという観点から体験型・鑑賞型の内容が好まれるので、十分に考慮し取り組みたい。内容については、父親を対象とするなど多角的な視点から企画を考案したい。野外企画は雨天代替案も含め、より詳細に考案しておく必要がある。							



事業名 テーマ	教養講座 やさしい俳句教室		対象	成人一般		定員	15名	
ねらい	余暇の時間を利用して、住民の教養を向上させる機会を提供する。							
協力機関 及び団体	花野俳句会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4・11	
会場	内牧地区公民館 研修室1 内牧地区公民館周辺		教材 資料等	テキスト「俳句とは」、「やさしい俳句 教室」、短冊、互選用紙等				
実施ま での経 過	10月 講師と打ち合わせ 10月1日(土) 公民館だより10月号発行 11月1日(火) 参加申込み開始		PR方法	公民館だより10月号、ポスター掲 示				
	11月25日(金) 参加申し込み締め切り 前日準備		受付方法	11/5(木)～12/3(金)に電話または 窓口で申込み(先着順)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
①11月26日(土)	13:30～15:30	俳句についての基礎学習・吟行 句会	講義・散策 演習	1	6	7	磯谷 健治	
②12月3日(土)	13:30～15:30			1	6	7		
2回		4時間		2	12	14		
企画運営上 の工夫	初日は吟行と講義形式、2日目は句会形式で実施した。今回も公民館利用サークルで ある「花野俳句会」に運営協力をいただいた。							
成果 参加者の 声など	受講者の皆さんも初心者にもかかわらず複数の句を作ってくられ、白熱する句会と なった。参加者の中には、花野俳句会への加入希望される方もいた。							
課題と展望	当日の天候にもよるが吟行は実施した方がより良い事業となる。 両日地区公民館行ったことでスムーズな事業展開ができた。							




内牧地区 17

事業名 テーマ	公民館利用者のつどい		対象	公民館利用団体 代表者及びサー クル会員	定員	なし	
ねらい	公民館利用者相互の交流を図り、公民館活動の活性化を図るとともに、公民館利用の基本事項の確認等で利用の適正化を促す。併せて、人権意識の啓発及び防災意識の向上を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市消防本部		特色 位置づけ		SDGs の目標 No	4・11	
会場	内牧南公民館 内牧地区公民館		教材 資料等	公民館利用者のつどい資料 自衛消防訓練			
実施ま での経過	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止		PR方法	公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布			
			受付方法	当日、窓口にて			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
2月4日(土)	10:30~12:00	公民館利用者のつどい 自衛消防訓練	会議 訓練	2	4	6	公民館職員
内牧南公民館							
内牧地区公民館	15:00~16:30	公民館利用者のつどい 自衛消防訓練	会議 訓練	4	6	10	公民館職員
2回	3時間			6	10	16	
企画運営上 の工夫	コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者のつどい・人権研修・自衛消防訓練を中止とした。 開催通知は来館日に手渡しとし、郵送は取りやめた。						
成 果 参加者 の声 など	利用者へは意見・要望などを提出してもらった。以下の意見等があった。 ・機材も充実しており、使いやすいです。・コピー機の使用に関してもっと自由にいつでもコピーが取れる状態になればベターです。・生きがいを感じて皆さん通ってきています。						
課題と展望	利用者へインターネット予約のレクチャーなど実践的な部分を含めた方が利用の促進につながると考えられる。また、コロナの関係で支払いの方法が一時的に変わったことで利用者としてどちらのやり方が良かったかなどの意見抽出は必要である。						

事業名 テーマ	小学生期家庭教育学級		対象	小学生の保護者及び一般		定員	20名	
ねらい	小学生期における家庭教育の重要性を認識し、親として望ましいあり方について学ぶ。							
協力機関 及び団体	共催:内牧小学校PTA		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目標 No	3・17	
会場	内牧地区公民館		教材 資料等					
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※内牧小学校PTAとの調整に至らず		PR方法					
			受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数	未定		0	0	0		
2月17日(金)								
1回				0	0	0		
企画運営上の工夫								
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止							
課題と展望								

内牧地区 19


事業名 テーマ	青少年体験教室 職業体験プログラム 地下神殿(首都圏外郭放水路)探検ツアー		対象	小学生と保護者	定員	最大40名	
ねらい	①「学校教育では触れることの少ない」職業観の育成支援 ②体験・見聞を共有して保護者とのコミュニケーションの促進 ③地域に関係のある、企業・仕事の存在を知り地元・地域愛の育成						
協力機関 及び団体	観光振興課 東武トップツアー 龍Q館(シルバー人材センター)		特色	親子で学ぶ	SDGsの 目標No.	4・13	
会場	首都圏外郭放水路 地下神殿 龍Q館		教材 資料等	地下神殿探検ツアー 「探検資料」			
実施までの 経過	企画検討:R4年11月度～ 関連部門調整:R5年1月 施設予約:R5年1月12日 事前打ち合わせ:R5年2・3月 2回(龍Q館) 募集開始:R5年2・3月 配付資料編集:R5年3月(探検資料)		PR方法	公民館だより SNS発信			
			受付方法	電話受付 来館窓口受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
3月18日(土)	11:45～12:30 12:50～13:00 13:00～14:00 14:00～15:00 15:00	受付 参加者集合/館長挨拶 地下神殿探索 龍Q館見学(Group別) 解散		16	16	32	地下神殿 :東武トップツアーズ 龍Q館 :シルバー人材センター
1回	3時間00分			16	16	32	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学・探検活動を通じて職業を知るといった目的もあり、施設概要の資料は、独自に子供向け資料を作成して対応した。</li> <li>・新型コロナ感染が流行する中での実施となる模様である為、行動にはグループ分けをして間隔を保つなどして感染防止に留意した。</li> <li>・子どもと父親の会話促進という意味でも、父親の参加しやすい土曜午後に設定した。</li> </ul>						
成果 参加者 の声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいにくの雨の中であったが、32名の参加を頂き、実施後のアンケート結果でも、満足度は高く、新たな催しへの期待も多数頂き盛況の内に終わることが出来ました。</li> <li>・狙いの一つであった父親の参加も75%と高く、親子での会話やコミュニケーション強化という役割も果たせたのではと考える。</li> </ul>						
課題と展望	公民館事業参加者を他の一般参加者と分けてコース見学をすることは、ストラップ等の工夫により上手くいったが、受付時の他お客さまとの識別・誘導、同時に遅刻者への対応などは課題となった。今後の展望としては、普段の生活の中で目にすることの少ない体験への期待も多い事が分かったのでシリーズ化し広くアピール、実施していきたい。						

事業名 テーマ	教養講座 うちまき歴史探訪ツアー 「癒しと救済のお地蔵様めぐり」		対象	一般		定員	20名	
ねらい	地域住民に内牧の史跡を紹介し、郷土愛を深めてもらうとともに、歴史を学ぶことで教養の向上を図る。また、地域住民以外の方にも参加していただき、内牧の魅力をPRする。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	重点事業			SDGs の目標 No	4・11
会場	内牧地区内 (雨天時)中止		教材 資料等	しおり(配布)、壁新聞(館内掲示)				
実施までの経過	12月上旬 打ち合わせ 2月下旬 講師依頼 現地踏査(講師と)		PR方法	公民館だより2月号掲載、安心安全メール配信、他公民館にチラシ配架				
			受付方法	2/15(水)から内牧地区公民館の窓口または電話で受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
3月2日(木)	13:00~16:00	内牧地区内の散策 お地蔵さんめぐり	散策 見学	5	11	16	内牧フォークロア 高橋 昌子	
								
1回	2時間40分			5	11	16		
企画運営上の工夫	事前に講師と打ち合わせや現地踏査を重ね、参加者の安全や健康面を第一に考えたルートを設定した。また、現地拝観依頼先の方々と話し見どころや散策に適した場所のコースを教えて頂いた。参加者が事業終了後も学びを継続できる資料として残せる「しおり」として探訪する史跡の解説文とガイドマップを作成し、当日参加者に配布した。							
成果参加者の声など	コロナ禍での実施となったが、屋外での実施であったため説明時に参加者同士で間隔をとることで感染リスクを減らしながら実施ができた。 参加者からの声 ・内牧の歴史を再確認できた ・普段の散歩コースにお地蔵さんがあることに今回参加して気が付いた							
課題と展望	参加者は集まったが屋外での実施のため聞き取りにくい場合があった。参加者数を検討する必要がある。文化財保護課の職員と連携しより充実した内容にできればよい。							

内牧地区 21

事業名 テーマ	みんなで考えるうちまきスマホ活用講座 基本編(3回)/応用編(1回)		対象	65歳以上の高齢者	定員	基本編: 10/19名 応用編15名	
ねらい	ITの進化に伴い、スマートフォンの行政活用が進んでいる。デジタルデバイドが生じない様に公民館でスマホの活用講習会を行う事が求められている。そこで、内牧地区でもスマホの基本利用と応用に関してそれぞれ講習会を行う事とした。						
協力機関 及び団体	NTTドコモ ショップ	特色 位置づけ	基本編(ドコモ講師)/応用編(公民館講師)で実施		SDGs の目 標No.	4・3.11	
会場	内牧南公民館	教材 資料等	講習会テキスト				
実施ま での経 過	実施検討開始:(LINE社他)4月27日～ドコモショップとの打合せ(計5回):6月22日 職員内打ち合わせ(計13回)6月16日～開催:11月2日(第1回)/11月18日(第2回応用)/12月8日(第3回)/2月22日(第4回)		PR方法	館内ポスター・チラシ 高齢者支援課での紹介 他 イベント開催時紹介・配布			
			受付方法	直接または電話で内牧南公民館に申込み 先着順、定員になり次第締め切り			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
第1回11月2日(水)	13:30～16:00	基本講座:スマホの基礎	講義	2	13	15	ドコモショップ担当
第2回11月18日(金)	13:30～16:00	応用講座:健康管理	講義	1	15	16	公民館職員
第3回12月8日(木)	13:30～16:00	基本講座:カメラ・地図アプリ	講義	0	15	15	ドコモショップ担当
第4回2月22日(水)	13:30～16:00	基本講座:ラインの使いかた	講義	2	17	19	ドコモショップ担当
				5	60	65	
4回		10.0時間			5	60	65
企画運営上の工夫	・開催にあたり、LINE/ドコモショップなど複数の講座提供側調整と受講者の習熟度事前調査を実施し、計画・準備を行った。・行政側の使わせたい視点を考慮し、応用講座では、独自にテキストを作成、職員自ら講師になり対応した。・生涯学習推進委員の皆さまや複数の他公民館の職員と協業して実施し課題の共有も行った。						
成果参加者の声など	基本講座では、参加者から、「優しく教えていただきスマホを身近に感じる事が出来た。」「諦めていたことが、前進することが出来ました。」等概ね好評な評価を得られた。応用講座では、勉強量が多かったが、必死に講座に取り組んでおられる姿が印象的でした。						
課題と展望	・基本・応用講座を通して受講者に偏りがあり、期待する受講者数に対して数%程度しかカバーできていない。講座での習熟度にばらつきも多かった。今後、自治会を通じた働きかけを行い、未参加層を掘り起こす、講座内容の再検討を行い習熟度の底上げを図っていきたい。						



事業名 マ	公民館だより「うちまき」発行	対象	内牧地区内世帯	定員	約4,700部		
ねらい	公民館事業のPRや事業報告、地区内社会教育団体の活動PR、地域情報などを地域住民に提供する。						
協力機関 及び団体	内牧地区自治会連合会	特色 位置づけ		SDGs の目標 No	4・11		
会場		教材 資料等					
実施ま での 経過	発行月の前月中旬に原稿作成・印刷 広報かすかべと隔月同日配布 (偶数月1日発行)	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
偶数月1回		主催事業等の情報提供 特別号の作成 体育祭・文化祭→配布なし 内牧地区内 約4,700部を配布					公民館職員で作成
8回				0	0	0	
企画運営上 の工夫	昨年度に引き続き2色刷りプリントで印刷を行い、インク代と紙代のコスト削減を図った。内牧南公民館では新規事業も実施したので、その広報を見やすくできるよう工夫した。また、既存の事業や地域情報、事業報告もできるだけ見やすい紙面になるよう文字だけでなく、写真や絵などを入れレイアウトを考えた。						
成 果 参加者 の声 など	公民館事業開催の情報だけでなく、地域で実施した催しが取材できた場合はその様子も掲載しているので、興味をもって見ていただけている方が多い。						
課題と展望	2か月に1回の発行であるため、特に新規事業を掲載する場合は、いつが良いのかをよく検討する必要がある。						